

令和5年第1回社会教育委員会・文化ホール運営協議会合同会議概要

日 時：令和5年10月6日 午後2時～4時

場 所：ユーベルホールリハーサル室

出席者：別紙のとおり

議事次第：別紙のとおり

議事概要

○町より豊能町公共施設再編にかかる基本方針の説明

本町では人口増加に合わせて公共施設の整備を進めてきたが、これら施設は著しく老朽化が進んでいるという状況にあり、近い将来には、大規模改修や建て替えが必然となっている。こうした状況から、公共施設をこれまで通り運営することは非常に難しい状況になっており、今後は人口規模や財政規模に応じた新しい公共施設へと転換していくということを考えなければならない時期にきている。このため、今年6月に本町の公共施設再編に関する基本方針を策定したところである。今後は、この基本方針をもとに、住民と意見交換を行いながら、新しい施設のあり方を考えていきたい。

この基本方針では、集約する対象施設として、西地区では吉川支所、西公民館、ユーベルホール、図書館、保健センター、社会福祉協議会事務所、子育て支援センタースキップ、老人福祉センター豊寿荘、東地区では、中央公民館、郷土資料館、老人福祉センター、ふれあい文化センター、国民健康保険診療所を対象としている。西地区の施設面積は、ほぼ1万㎡、東地区については3000㎡程度である。

これらの施設整備は、人口が3万5000人のまちづくりに合わせた形で、各施設が整備されてきた。しかし、町では令和13年の目指す人口規模として1万5000人としており、人口維持を図るための施策を重ねて行くが、人口減少は避けられないものであると考えている。そうしたことを踏まえ、施設面積を概ね50%程度縮減するという方向で進めていく。これを目途に進めていかなければ、今後このまちを維持していくことが難しいと考えている。そこで基本方針に基づき、具体的な規模や機能の見直しを検討していくところであるが、その際には、住民の立場に立った施設のあり方を考え、十分意見交換を行ってきたい。

具体的なスケジュールについては、まだ固まってはいない。令和5年度中には、住民アンケートや懇談会などを実施したい。広く住民の意見を聞き、ワークショップ等を通して、基本計画の策定等の必要な作業を進めていき、最終的には令和13年3月には、すべての事業が完了することを目指して進めていきたい。この期間は過疎債が使える期限で、このピンチの状況を何とか良い方向に改善できるように取り組みを進めていきたい。

○ 質疑応答・議論等

委員

町側から公共施設再編の説明する際、説明する者が毎回変わっている。前回では、副町長が説明したが、そこでの意見はどうなっているのか。これからは、説明者をあまり変えずに説明を願いたい。そうしないと、中身は一緒でも言ってるニュアンスが変わったり、極端なこと言えばイントネーションだけで理解の仕方も変わる。その点をお願いしておきたい。

委員

今回の基本方針は、小中学校の再編とはリンクするものなのか。学校建て替えの際には、そこに一部の公共施設を入れるという話もあったが、それらと今回の方針は一連のものなのか。

町より

以前に公共施設再編については検討委員会という組織で検討していることを述べさせていただいたと思う。この検討委員会で議論を重ねた結果、町としてそれを受けて、それを基本方針として進めていくことになった。具体的な場所はまだこれからである。

学校については、西地区は、今の吉川中学校の場所に義務教育学校という形で、令和8年4月に開校に向けて進めている。東地区も、今の東能勢中学校の校舎に、義務教育学校を目指し、令和8年4月をスタートとして進めている。したがって、この他の公共施設再編と学校再編というのは、今は別立てで進んでいることになる。

委員

学校の問題とは別立てというのはわかるが、空き家になる学校がいくつかできる。この活用という問題があるから、学校施設は公共施設の再編問題と切り離すことができないのではないか。

それに、公共施設ということでは、学校施設と社会教育施設等の公共施設と、それから役場本庁、吉川支所の建物という、三つの焦点があるような気がする。この場で基本方針に上がっている公共施設再編だけ議論するだけで、豊能町の公共施設の問題が解決できるのか。

町より

学校施設とこの公共施設再編は別で進めている。空き学校施設については、企業誘致等町の活性化に繋がるものを誘致する方向で働きかけていきたい。

委員

町のほうで施設再編のあり方を検討してそれを示してから、この委員会に意見を求めればよい。

過疎債は令和13年の3月には施設整備が完了しておかなければならないということだが、期間内に完了しなかったら、過疎債は受けられないものなのか。そうなれば、あと6、7年ぐらいしかない。これでは、早く動かないと間に合わない。

複合施設については、東地区はある程度イメージとして湧くが、西地区は公共施設が集中しており、これ壊して建て替えというのは一気にはできない。基本的には、ある程度ははっきりとしたイメージとしての基本線を町で持つておかなければ、住民に意見を聞いてもまとまらない。町の方針をはっきり決めて進めてほしい。

町より

複合施設のイメージができないということだが、施設配置等の具体像はまだできてない。メリット、デメリットを示しながら、意見交換しながら進めていきたい。

施設の使用に関しても、休館、一時休止等の問題が出てくるので、ワークショップなりで、それらを軸にして進めていきたい。

過疎債は令和13年3月には竣工しておかなければ使えない。逆算していけば、遅くとも令和10年度には西地区の工事を着工しておきたい。つまり、3年以内には進めていかなければならないイメージをもっている。本当にタイトな日程であるが、専門の業者を活用して、アンケート実施、それから基本計画を策定していきたい。

委員

施設には建物と設備がある。建て替えという議論では建物ばかりの話になるが、大事なの中にある設備をどうするかである。これまで、メンテナンスの費用というものがほとんど予算化されてない。それでメンテナンスがほとんどされず、経年劣化による設備の老朽化が進んでいる。ユーベルホールの設備の問題については、メンテナンスの手抜かりが一番大きな問題である。ふれあい広場のテニスコートについてはメンテナンスの成功例といえる。

メンテナンスを適正にすれば、設備はほとんど老朽化することはない。施設メンテナンスを考えていない限りは公共施設の再編計画もあきらめざるをえない。一般企業では、建物は減価償却をしている。公共施設で財務経理上の処理がきちんとできているのか。施設設備ができて、メンテナンスや減価償却とかできていなければ、今までと同じ道を歩む。こういった問題も真剣に考えてもらいたい。

前回の会議で、公共施設再編のプロジェクトチームが発足したと聞いたが、現在も継続しているのか。町長が代わって終結したのか。このあたりの対応に一貫性がみられない。

町より

施設管理運営については、基本方針に項目を上げている。施設メンテナンスや施設の更新などを見極めながら、省エネ制度検討、長期で良好な状態、低廉な費用で使える施設の手法など含めて建てる段階から考えていくという基本的な考え方を持っている。

プロジェクトチームは、令和3年度、4年度から公共施設検討委員会と並行して動かしている。今後も必要であれば、そういった組織を立ち上げていく。

委員

役場の人や町長、副町長あるいは各議員と話しして、情報の共有化ができてない組織だと実感した。町長に情報の共有化という意識がない限りは、末端まで浸透しない。これまでは、各局面で結論が途切れて繋がりが無い状況にあるのではないかと。

町より

組織の情報共有化は、適正に引き継げるように進めていく。首長は選挙があり施策が変わることがある。本来は、行政は継続性が必要であるが、選挙公約で大きく変わってしまうこともあり、やむを得ないところはある。

委員

前の町長と今の町長が同じことをすることが情報の共有化ではない。公共施設再編検討委員会の中身を含めて、前町長から現町長へどれだけ引き継ぎされているのか。それが無い限りは情報の共有はない。

現町長は前町長から大きな情報を得ていないようなので、一からのやりなおしになる。それで政策が変わるのは当然だが、政策以前の問題として共有化がされていないのではないかと。

町より

しっかりと対応していきたい。

委員

説明では、建築面積を50%減を目標とする旨の言及があった。かつての計画人口は3万5000人で、これが1万5000人程度に減少する見込みなので、人口は半減する。それに合わせて施設面積も半分にするという考え方で進んでいるのか。

そこで、東地区の施設はある程度場所が決まっているが、西地区は区域内において現在の建物面積の50%以内となるよう建物を作っていくという認識でよいのか。

町より

西地区の建築面積の50%が5000㎡となるが、この規模ではかなり大きな施設となる。果たしてそれが1棟でいいのか。管理コスト、運営経費などからは、大きな施設ではより経費が嵩むところもある。そこも踏まえながら進めていきたい。

50%という数値はあくまで目安であって、施設の利用状況とのかね合い、今後の人口推計もある。これらを踏まえて50%がよいのか、それ以外の目安がいいのか考えていく。50%にはこだわっていない。

委員

西地区の場合、区域全体を考えて計画的に建物を配置する。残存建物は潰して駐車場等にする。建物規模については人口に合わせたもの、施設内容については現状の確保と住民ニーズに合わせるという理解でよいのか。

町から

詳細はまだだが、そういう感じのイメージになる。

委員

今まで公民館でも部屋不足などいろいろな要望がある。利用頻度でどうなるかはわからないが、施設規模は縮小となり、メンテナンス面とか管理の業務を行いやすく、また、低コストでできるようにすれば管理運営がしやすい。利用者ボランティアで運営する手法も考えられる。

委員

今回の資料を見たとき、前回から一体何が進んだのか。もう少し進んだ具体的なことが書かれているのかと期待していたが残念に感じた。今までは、ユーベルホールが休館になるか廃館になるかというところで話は終わっているのだが、町長が代わるたびに方針が変わる。選挙公約などで変わるのは当然なのだが、住民と約束したことは変えるべきではない。

今回もこの基本方針が出てきたが、具体的にこれから進んでいくとは思いますが、それがその通り進んでいくのか。「これを変える」という人が出てきたら、また変わるってしまうのかと不安に思っている。具体的な案も出ていないが、これからどのように組んでいくのか。

委員

町長が代わるたび政策が変わるというのはわかる。だが、今度の町長は、変えることもあるが、今までのように朝令暮改的な動きはないと考える。そこで、今、キーマンとなる

政策監が登場して責任ある説明がなされた。これがその対応の第一歩である。これから、具体性のある話をしていただきたい。今までの話は抽象的で総論的過ぎた。現在は、いわゆるタイムテーブルも何もない。そのなかで言葉の端々をとらえて議論しているだけの話だ。いまだ、本格的に公共施設再編の問題が議論されたことはないが、これからが、本当の議論に入るものと期待している。

町より

これまでは総論的な話しかしてできていない。ここから各論に入っていくが、これは町独自で考えていかなければならないところである。特に住民の生活に密接に関わる大事な施設であるので、この根幹が変わるようなことはあり得ない。しっかりとそこは引き継ぎ進めていきたい。

皆さんとしては、ここに施設配置の図面等があって、施設配置や建物の1階や2階の状況はどうかという具体的な議論ができたらという思いで来ていただいたと思う。ここは、まだスタートに立ったところなので、これからということになる。ただし、基本方針の中で複合施設と位置づけられているので、生涯学習や保健福祉など目的の違う施設がひとつの建物の中にはいることとなる。つまり、建物が一緒の中でいろんな機能を求める複合的な施設になる。その中で今後、これまでの活動をどうしていくのかというところを念頭に置いて議論を進めていただきたい。

委員

つまり、ユーベルホールは壊すということか。再編で集約し整備するとは、一回、全部潰してやり直すのということなのか。これまでの話では、ユーベルホールも建て替えるとサラリと言われているが。

町より

新しい施設になるということは、ホール自体は無くなるということである。ただし、その機能を、複合施設の中に作っていく。考え方としてはこういうことになる。

委員

ユーベルホール無くすのならば、予約の受け付け状況、期間等を十分考えて、利用者に迷惑のかからないかたちでスケジュールアップしてもらいたい。

町より

施設の配置等は住民の意見を聞いて決定していくことなので、今はどこに建てるとかということは決めていない。

委員

そういうところは、はっきりしないと聞いている方は誤解する。

町より

建て替えには、一時休館や代替え施設などいろんな問題があり、進め方にもそれぞれメリット、デメリットがある。ここは広く住民の方の意見を聞きながら進めていきたい。

委員

現状の機能をもった施設はつくるけれども、ユーベルホールを継続して使うことは考えていないと理解してよいのか。

町より

ユーベルホールの施設の維持は無理と考えている。

委員

人口は1万5000人を想定しており、人口は増えないという想定である。以前の学校再編の際には、今後、人口を増やす施策をして東地区の方も子どもが増えるから、2小2中にすると言っていた。しかし、今は、人口は減る前提となっている。その整合性、連携が取れていない。現状では増えないだろうというのはわかるが、片方で増やすと言い、ここでは人口減で1万5000人ベースで考えるといっている。このすり合わせができていない。全国的に人口は減っているが、魅力的なまちづくりで増えている地域もある。そこはその町全体としてどのように考えているのか。みんなそれぞれバラバラなことをやってるようにしかみえない。

町より

人口が増える施策は難しい。これができれば日本の国は悩む必要はない。現町長になって、企業誘致を具体化したり、地域の活性化のための動きを行っている。こどもの施策では、医療費の18歳までの無償化を実現した。家屋の老朽化に関する補助金を創設することや家財道具の処分補助金を検討すること、子育てシェアしやすいまちづくりを進めるなど、人口が増える施策を進めていきたい。新しい公共施設についても、それが地域の活性化に繋がるようなものにしていきたい。

委員

前にも地域活性化についての話はあった。しかし、出遅れている。町周辺で働く人を豊能町に空き家があるので住んでもらおうとしても、空き家は財産絡みで活用できない。そ

んなこともあり、いままでと何が変わったのか。

義務教育学校については、吉中周辺の整備に関して具体的な資料が示された。あれだけ具体的に出てきたら、きっとできるものと思ったが、今は動いてないと見えてしまう。光風台小学校に中学生が来るが、どこが変わったのか。光風台小はこどもがいるので工事には入られない。

吉中の体育館は使えなくなるが、社会体育で使っている団体がある。これら団体はどこへいくのか。町は全然考えていなかった。住民に事前に協議してもらい、他施設の使用団体とかが少しずつ体育館を譲る手法など、そんなこともできたら温かい町になると思う。そういう情報が全然入らず、ユーベルホールでも潰れる、潰れない等、人々の噂があちこちで聞かれる。そんなことよりも、方針が明確に出たらよいと思う。それならば、発信者になれるが、不明確なままではしんどい。

委員

複合施設について、いろんな施設が集まることによるメリット、いろんな機能をリンクさせていくことは賛成だ。その上で、互いに情報共有しながら、一緒にできることは魅力的である。それを具体的に欲しい。そうでないとなにも見えてこない。先ほども、ユーベルホールを潰して違うところに複合施設を作る。残すのか、潰すのか、そこもはっきりしてないので、潰して、新しい施設に全部集約するという方針をはっきりとしていただきたい。具体的にどんな建物にしていくのかも全然わからない。他の人からもどうなっているのかと聞かれるときもあるが、どう答えていいのかわからない。図面まで無理ならば、具体像や概要や複合化でどういうメリットがあるのかということを示してほしい。そうしたら、その情報は広がって魅力的な建物ができることで、人口が少しでも増えるかもしれない。

委員

公共施設問題のキーワードは人口である。想定の人 1 万 5000 人がもっと減るかもしれない。そういうことも考えなければいけない。当然、人口を増やすための施策を考えなくてはならない。かつてのこの会議で、他の委員から、なぜ人口を増やすというの議論がないのかという趣旨の発言があったことを覚えている。だから、この問題について、人口の問題を抜きにしては進まない。人口の問題が根本にあることを皆さんの認識していただきたい。

令和 13 年 3 月が施設再編のタイムリミットならば、そこを最終にしてマスタープランができるのではないかと。タイムテーブルとブレイクダウンぐらいは。そろそろはじめる時期に来ていると思うが。

委員

今回のこの基本方針の資料見ていてやっぱり寂しいと感じた。希望が見えない。豊能町は、こどもたちは素敵で一生懸命やっており、生き生きしている。高齢者も元気で、魅力いっぱい町であるので、宝の持ち腐れではないか。打って出ないのかと。私も今、学校現場で教育を売りにしており、町の教育基本方針にも豊能町は教育の町と書いてあるが、そのわりに教育にかける予算が十分ではない。

教育もそうであるし、文化的な町で、東地区には自然が残っていて、まちの魅力を発信して人口を増やせる可能性がある町ではないのか。いろいろするにはお金ないので、ここぞというところに絞って、施設も何か魅力的なものに一気に建て直す。建てて、豊能町にはこんな施設があるという宣伝をしていくということはできないのか。

施設再編の進め方でも、アンケートやワークショップなどは丁寧ではあるが、それでは進まない。行政としてしっかりとの方針を出すべきである。たたき台でも示すべきで、それを出してから住民の意見を聞く方法で進めていかないと、すぐに令和13年が来る。

町より

施設再編での具体的なものを示せば良いのだがまだ準備できていない。住民の利用する施設であるので、しっかり意見は吸い上げるが、施設再編には住民も参画していただきたい思いがある。

期限が決まっているので、あまり時間がない。2年で基本計画をまとめて、その時には具体像が示せるようなところまで進めたい。そこから設計などで時間がかかるので、令和10年には工事着工ができたという思いである。建築業者等から意見では、それが精一杯のスケジュールということである。具体像についてはもう少しお時間をいただきたい。これはやらなければならないことなので、覚悟をもって進めたい。

委員

はじめての参加で、これまでの経緯はわからないが、公共施設再編に関して、施設再編はある前提で進むのか。それとも、この再編自体もいろいろな意見を聞きながら、また、考えるということなのか。

町より

今回、示したものは、今、町の方で公共施設再編をこのような考え方で進めていくというものである。具体的なものは、今後のことになるが、その規模は縮小していく方向で進めている。

そこで、これまでのように使えるのかとか、社会教育施設、福祉施設、保健施設などいろいろな機能が求められている中で、どういう使い方をしていくのかというところについて社会教育委員から意見いただきながら進めていきたい。

委員

東地区に関しては、是非とも総合複合施設にさせていただきたい。来年からでも着工してもらいたい。中央公民館の周辺を全部一体化して診療所、郷土資料館、ふれあい文化センターなど、そういう各施設の機能を引き継いだ複合施設を作っていただきたい。

また、旧保育所にあるダイオキシンをどうするのかを教えていただきたい。無害化されていると聞いているので適正に処理した上で、全体を複合施設にすることは賛成である。

町より

東地区の施設再編はダイオキシン廃棄物の問題があるので、一体的に進めるため、もう少し早いスピードになると思う。今の計画では、そのエリア内で最終処分したいと思っている。コンクリート固化されているので、埋めて2年間様子を見た段階で駐車場として使用することを考えている。早くそこを決めて、複合施設を作るというイメージを持っている。

委員

東地区には志野の里がある。箕面市止々呂美地区でもデイキャンプ場が盛況である。朝市もしている。東地区は自然が豊富で、河川もあり、野菜も買え、デイキャンプや川遊びとなどもできる、それを複合施設で誘導ができるようにすればよい。そういう一連の流れで豊能町に向かって423号線から人が流れて込んでくるよう、そんな施設ができればよい。

町より

現町長は、道の駅について作っていく方針である。今、発言されたイメージのものが何とかできないかということに合わせて検討していきたい。

そういうストーリー性は、人口増加にも繋がると思っている。単に空き家があるから来てくださいというだけではなく、豊能町に住むことによってどういう生活ができるかとか、生活スタイルがこう変わるのかということなどを打ち出していくのは大事と思う。最近のサードプレイスという考え方が行政の中でも出てきており、家庭、会社、学校以外の場所、サードプレイスというところで、そういうものが複合施設の中で確保できるのであれば、高齢者と中学生が交流できるような場所が身近にできるとか、そういったメリットがあるので、それらも考えながら進めていきたい。

委員

過疎債を有効活用するのは大事と思うので、これを100%メリットを活かして施設の再編し、それと並行して、着実に人口増の施策も、考えていただきたい。例えば、町営住宅

の跡地があるので、町営住宅を建てて町外から若い人に帰ってきてもらい、人口を増やしていく基盤を作ってほしい。

今、若い方を中心に就農がすごく注目されている。これは、ぜひ豊能町も考えてもらいたい。今、就農支援塾をしているが、受け入れる体制を作りつつ規模を拡大していくような施策をしていただきたい。再編とは違う部分にはなるが、そういうところにもぜひ取り組んでいただきたい。

町職員の数もすごく少なく、財政難で人減らしになっているが、そういう中だからこそスペシャリストを作っていただきたい。それらは、施設の管理メンテナンスにも生かせる。電気系統のスペシャリストなら、建物の電気系統が見える。そういうスペシャリストを育てていただきたい。大きな市町村ならば、財政的にも人にも余裕があるので、スペシャリストをつくる基盤があると思うが、豊能町でも何とかスペシャリストを増やす基盤を作ってほしい。そして、公園の樹木の伐採でも、知識を持った人が行ってほしい。気になるのが、公園遊具が老朽化していること。このまま使っても大丈夫かというのがたくさんある。それで遊んでる子どもたちがけがしてからでは遅いので、しっかり見ていただきたい。

人が豊かな、人の魅力がある豊能町というところを生かして、住民の声を吸い上げるといのは大事だが、今はそんなこと言っていられない時期に来ている。今、必要なのが、リーダーシップをとって引っ張ってくれる職員である。皆さん協力してください。お願いしますと引っ張っていってくれる職員になっていただきたい。

町民には、すごい人がたくさんいる。10年以上文化祭の役員しているが、毎年、発見があって、人脈がどんどん広がり財産になっている。町も謝ることを恐れずに、どんどん情報を公開してくれる町であってほしい。

吉中の生徒が光小に通うということは、知らない人がほとんどであった。情報がもっと早く共有されていれば、吉中体育館を使用している団体のネットワークにもその情報が共有化され、会議をして使用プログラム再編をすることもできたと思う。皆さん協力しないのではなく、知らないからできない。早くに情報を流してもらえればみんな動けると思う。豊能町の素晴らしいところは、知識のある魅力的な人がいっぱい住んでいる。高齢化は進んではいるが、高齢者もフットワークが軽い。電動の車椅子に乗っている人もこの町には少ない。こういう人たちのマンパワーを、どうやったら生かせるかということも、真剣に取り組りくめばできるのではないか。

もう一つ。潰してしまう施設であったら町民に返して欲しい。この条件では使えない。これは費用がかかるなど、制約が多い。ユーベルホールを潰してしまうのならば、潰す前に町民に使って欲しい。まだ使おうと思えば、ホールロビーも全部使えるのに、費用がかかるなどの制約で、町民に使わせてくれないという体質がある。潰すとわかっているならば、町民の人に使える施設にして欲しい。

文化祭で、文化というものは、物を作ってみてもらうだけではなく、歌うことも踊るこ

とも文化であるので、物を飾るだけではなく、パフォーマンスの発表も同時にしないと文化祭ではない。そういうことを職員の方と話し合ったが、いろいろ課題を上げられて。パフォーマンスの実施をずっとつぶされてきた。とよのまつりが中止になった際にも、文化祭はとよのまつりが始まるより前から町民祭としてしてきたのだから実施しようという声が上がって、継続してやっている。文化祭パフォーマンスも去年から行っている。ユーベルホールがあるのに、西公民館の大会議室でパフォーマンスをしている。大会議室での開催について、どうしてユーベルホールでできないのかと参加メンバーは言っている。ユーベルホールが使わせてもらえないのは費用の面で、ホール使うには料金がかかるからである。そういうところも、小さい町だから何とかしようと思ったら何とかなるのではと思う。

そういうところで、ユーベルホールを思う存分使ってから新しい施設に移りたい。ここにわれわれの税金が入っている。この施設を住民に返して欲しいと思う。

委員

今回の資料を最初にもらったときに、今までとどこが違うのかというイメージでこの会議に来た。そこで町からの話を聞いて、これまでとは切り離して、公共施設については今から再スタートという理解をしている。新しい町長の考え方としてこれから再スタートする。それでこれからはもっと具体的な話が出てくることを期待している。

町より

先述の通り、公共施設再編に関しては総論を論じてきて、これから各論に入っていく、それを形にしていきたいと思う。

先ほどのダイオキシンの件に関しては、今そこを目指して頑張っているというところで、もうダイオキシンの問題が解決したということではないことを理解いただきたい。

委員

住民の意見は多く聞いていただきたいが、住民の側からは、真っ白な段階では意見など何を言えばよいかわからない。少しでも何か具体的にあれば言いやすい。やはり、ある程度の案を出せば意見も出やすいので、具体案を少しでも出していただきたい。

委員

アンケートの件は、町職員が豊能町のことわかっていないことが前提になっている。町民の意見を聞いてというが、町職員は知らないのかと言いたくなる。町は現状をみているのか。そうならば、町から引っ張って欲しい。具体案についても、町民の思いを押し量って自信を持って出して欲しい。これが最初から意見を言えと言われてしまうと、町は何もわかっていないのではないか感じてしまう。

豊能町の職員、町のことには一番わかっていると思いたい。それぞれの部門を集約して役場があり、それで仕事しているのであれば、自信を持って案を出してもらいたい。

町より

アンケートについては、他市町村の例もあり、広く住民の方の意見を聞くというのが当たり前の状況になっているので、これは踏襲していく。ただ、今日の意見を伺って、町のなかの思いを出しながら、何かできることはないかということで進めていきたい。非常にタイトな時間の中だが、考えさせてもらう。

司会

公共施設再編基本方針にかかわる意見、質問はここまでとする。

今後のこの委員会の進め方であるが、公共施設再編については何か案がでない限り具体的な議論はできない。具体案が出るまでこの委員会で何を議論していくのかというところは、複合施設になるので福祉など他部門との共存どうしていくべきか、どうあるべきかというところで話ししていただきたいと思うがどうであろうか。また、施設再編について新しいものが出たらそれで進めさせていただく。

今ひとつ生涯学習課所管協議会に図書館協議会というものがある。複合施設として図書館も入ることも予定されているので、この会議に図書館協議会も合同で入れるということも考えられるがいかがか。

これは、例えば複合施設的具体像がでたら、図書館に入る動線とか、どこに配置されたらよいか、1階か2階かなどの施設立地の話は、図書館にとっては有効な話と思う。

委員

複合施設的具体像を話し合う情報が全くない。今日聞いた公共施設の再編検討ということに関して、今日聞いたことがすべてなのか。先に進んだ段階のところも、町としてすでにもっているはずだ。そのあたりの情報が出てくるまでは、図書館協議会に入ってもらっても、時期尚早なのではないか。

司会

情報がそろい、具体案として図書館の位置が決まりそうな段階において呼びかけ、意見を伺うという形で進めたい。

公共施設再編についての次の段階の情報はいつごろ出る見込みなのか。

町より

予算を、今年中には立てる。そこで業者決定を年内に行い、年明けからスタートしていきたいと思っている。あくまでも、私案なので決定ではない。

司会

この委員会に提示できるような新たな案がいつできるかという見込みはいつ頃か。

町より

少なくとも、半年ぐらいはかかる。

具体的なイメージは、ここは駐車場になって、ここは建物になる。さらには、建物内部で1階はこの配置で、2階はこのようにというものが提示できればよいのであるが、そこまでは無理と思う。前段階として、建物と駐車場配置のイメージぐらいは出せるかもしれない。

基本計画は、イメージとして、立面図と簡単な平面図で、どこに何を配置するというものではない。どこにどんな大きさの建物が立つというイメージ図のようなものができ上がるのに2年はかかる。その半分で考えれば、1年でどこに建物、どこに駐車場というのを示すのにも1年ぐらいはかかると思う。

委員

大きな施設ではメンテナンス費用が嵩むので、2分割とか3分割とかという話もあったが、例えば、2分割3分割するとしたら、どの施設が一緒になるというゾーニング的な感じで示してもらおうということはどうなのか。

町より

町でたたき台を作るというのであれば、半年程でできるとは思うが、それが本当にいいのかどうかという問題がある。やはり1年はかかるのではと思う。

事務局

先ほどから町としてのリーダーシップっていうのが言われている中で、この施設はなくなるけどこの施設は残るという話ではなく、この施設群を一旦全部壊して一つにするという方針については、まだそこまでのものは出ないと考えていいのか。一旦全部壊して一つにするというイメージを描いていたが、今日の会議の中ではそれをはっきり断言していない感じがした。

町より

一旦全部壊わす。これが方針である。

事務局

であるから、それが、住民からの意見聴取やワークショップなど行っても、そこは変わ

らないということでのいいのか。ユーベルホールが無くなるという話だったので、そこははっきりしておきたい。

町から

ユーベルホールが無くなるというについては、このホールを無くす前提で話を進めている。

委員

建物は業者にプランニングというかたちで出して、そのプランニングから進めるといことはあるが、何も無いところから1年、2年かけて作り上げることはすごく難しい。職員で考えれば、半年ぐらいである程度は内容的にはできるかもしれないと発言があったが、たたき台的に一つ案を出して、それが通るのではなくて、それをいろんな方向から見ながら変えていくように、まず、一つ何か作って見ないとどうしようもないのではないかと。それも、外部の業者に丸投げするのではなくて、それを町の行政の職員が議論して出す。とりあえず何か意見を言い合う的みたいなものがないとどうしようもない。

司会

町側から、今どこまで進んでるのか、基本構想なり基本計画はいつごろできるのかというスケジュール感を年度内にもう一度会合をもって示させていただきたいということである。そこで、どんなことが課題になっているのか、何がネックになってるのかというところを話してもらい、そこで意見をいただくということで次回以降を進めたい。

委員

今日はあくまで基本方針の話なので、具体的な案を出せということは、今日時点でまだ酷である。次回以降、みんなが期待していた内容のものが出てくるよう進めていただきたい。

司会

そこまでは難しいと思うが、進捗状況等について話でいただきたいと思う。他になければこれで会議を終了としたい。

これにて合同会議を終了する。